【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公表番号】特表2008-514959(P2008-514959A)
【公表日】平成20年5月8日(2008.5.8)
【年通号数】公開・登録公報2008-018
【出願番号】特願2007-534691(P2007-534691)
【国際特許分類】
*Ｇ０１Ｐ　15/13　　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｐ　15/13　　Ｖ

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月20日(2008.5.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＶＲＥが第１の閾値より下になるまで、フィードバックゲイン設定値を調整するステップと、
ＶＲＥが第２の閾値より下になるまで、サーボ系比例ゲイン値を調整するステップと、
を含む閉ループ加速度計（２０）に関する振動修正誤差（ＶＲＥ）を最小限に抑えるための方法。
【請求項２】
前記フィードバックゲイン設定値を調整するステップは、既知の振動信号を第１の軸に沿って前記閉ループ加速度計に供給するステップを含み、前記既知の振動信号は、既知の周波数および既知の振幅を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記サーボ系比例ゲインを調整するステップは、ランダムな振動信号を前記第１の軸に沿って前記閉ループ加速度計に供給するステップを含み、前記フィードバックゲイン設定値を調整するステップ、および前記サーボ系比例ゲイン値を調整するステップは、自動的に実行される、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
閉ループ加速度計のプルーフマス（５２）の位置を測定するための位置測定構成要素（３２）と、
前記プルーフマスの前記測定された位置、および事前設定されたサーボ系比例ゲイン設定値に基づいてアクチュエータ信号を生成するための、前記位置測定構成要素に結合されたコントローラ（３４）と、
関連する事前設定されたフィードバックゲイン設定値に応じて、前記生成されたアクチュエータ信号を変更するための少なくとも１つのフィードバックゲイン構成要素（４８、５０）とを含み、前記フィードバックゲイン設定値は、既知の振動信号が前記閉ループ加速度計に供給された場合に、ＶＲＥを最小限に抑えるように調整され、前記サーボ系比例ゲイン設定値は、前記フィードバックゲイン設定値がＶＲＥを最小限に抑えるように調整された後に、ランダムな振動信号が前記閉ループ加速度計に供給された場合に、ＶＲＥを最小限に抑えるように調整される、
閉ループ加速度計に関する振動修正誤差（ＶＲＥ）を最小限に抑えるためのステム。